

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆BSOが取り組む「人財の確保育成計画」

BSOではベトナム高度人財確保・育成に取り組んでいます。短期間で戦力として企業で活躍できるよう、来日するまでに日本語だけでなく、日本産業文化、仕事の仕方を身に付ける研修を行っています。今回、その研修に取り組んでいる人財が作成した課題レポートをご紹介します。高度人財として日本の素晴らしい技術を身に付け世界で活躍する人財を目指し、日々取り組んでいます。

ホーチミン市工業大学卒業生 高度人財 課題レポート (全文・編集なし)

《フレームチャート「高度人財=専門技術×人格×協働×経営・管理×環境変化認識」について》

所長が送った二つの資料の違いは人格セクションにあります。人格セクションの中は「仕事する仲間と仲良し喧嘩クラブを作る」というセクションがあります。「仕事する仲間と仲良し喧嘩クラブを作る」というセクションは前回に比べてさらに3つの小さなセクションがあります。それは誠意と自覚と配慮です。私にとって、誠意は仕事で欠かせない人格。信頼があるために、目上の人や同僚と仕事をする時は誠意を持たなければなりません。自覚は仕事に必要です。仕事では他人が教えてあげるのを待ちませんが、観察することによって自分で自覚的に仕事を学ばなければなりません。配慮は周りの人と仕事によく気づいて気配りしています。周りの人に配慮した時は経験がある年配者から色々なことを学びます。年配者から学んだことを活用して自分の経験にその学んだことを変えます。また、向上心セクションの中にある自覚の内容は前回に比べて変更されました。前回の自覚の内容は「気づき、気配りと年配者の活用」という2つの小さなセクションがあります。今回までは消されました。その代わりに「他責は自滅と他の人が評価する」があります。まず、私にとって、自覚は仕事でミスをする時は悔悟して自分でミスを認めて自分の責任ということを見てそれからミスを解決して考えます。そしてほかの人にせいにしてはなりません。「他責は自滅」：他人にせいにして他責を貰うのは自滅こそ。その時、自分のミスは誰が解決してくれますか。ですから、仕事で真面目にしなければなりません。「他の人が評価する」：私にとって、悔悟してミスを認めて問題を解決した後で周りの人が結果を見て貴方の大人を評価します。そこから、私たちはだんだん大人になります。



～フレームチャート一部抜粋～

◆2022年度霧研 募集開始しています！

次世代経営幹部養成研修(霧研)では、鹿児島・大阪・高松の3拠点で開催し、次世代を担っていく中核人財の育成に取り組んでいます。来期の参加者の募集を開始しています。経営幹部の育成にぜひご検討ください。

～開催概要～

対象：経営幹部候補生、事業後継者、経営企画担当
期間：2022年4月～2023年3月
開催頻度：1回/月 1泊2日合宿
指導講師：西山 輝 (BSO代表)

◆誰でも使えるBSOナレッジ

誰でも自分の仕事に有効活用できるBSOの「ナレッジシステム」。今回はその中から「ビジネスの基本は遠欲で生きながら、近欲で稼ぐ」をご紹介します。

《ビジネスの基本は遠欲で生きながら、近欲で稼ぐ》

“近欲”とは目先の利益に執着して動くことである。反対に“遠欲”とは現時点では稼ぐことは出来ないが、将来利益を出すための先行投資の考え方である。近欲ばかりでビジネスを考えていると、後々何も残らなくなる。しかし、遠欲だけでは将来へ繋がる“今”が生きていけない。近欲で稼ぎつつ、将来を根底においた遠欲でビジネスを考えていくことがビジネスの基本となる。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動(受託事業・企画事業・出版事業)のタイムリーな情報をいち早く多くの方々を知っていただく為に発信しております。(お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで)

